

# 信頼される、密着性！

ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆  
登録番号 M05007

# 水性 塗料密着剤！

## 使用用途

- ★建築外装・内装用 (サイディングボード・アルミサッシ・ガラス・磁器タイル等)  
(ガルバニウム鋼板・カラーコートタン等)
- ★工業用 (アルミ・ガラス・ステンレス・ボンデ鋼板・スチール等)

## 特徴

- ★ 一般的な材質に使用可能
- ★ 凍結しても元に戻る・腐らない
- ★ 環境・人体への影響が無い
- ★ 塗布後のレベリング(膜厚)が一定
- ★ 道具の洗浄が簡単

		荷姿	
1.8kg	× 6本	ポリ容器	
3.5kg	× 3本	ポリ容器	

## 使用方法

- ① 塗布面にほこり・油分等が付着していないか確認
- ② 原液をウーローラー(短毛)またはナイロン刷毛で1回塗布 (乾燥膜厚として $5\mu\sim 7\mu$ )  
※吸い込みの多い部分については、2回塗布して下さい。
- ③ 塗布後の乾燥時間 (透明になり、タックフリーになればOKです)  
※乾燥時間については、地域・時間・日当たりによる差がありますので、乾燥被膜が出来ることを確認して下さい。(目安乾燥時間 30分~60分)
- ④ 上塗り (各種上塗りの塗装仕様に準ずる)

## 物性試験結果

試験方法 JIS-K5400

項目	試験方法	回数・時間	可否
pH	6.5		
不揮発分	13.5%		
一次物性 密着	100/100		合格 異常なし
屈曲性	3mm φ	180°	合格 異常なし
耐衝撃性	40cm	500g	合格 異常なし
耐候性	サンシャインウエザーメーター	1000時間	合格 異常なし
ヒートサイクル	-10℃~+50℃	20回	合格 異常なし
耐塩水性	3%食塩水	1500時間	合格 異常なし
引火性	引火性なし		

## 適用表・注意事項

裏面を参照して下さい。

メグロ化学工業株式会社

〒306-0204 茨城県古河市下大野1768

TEL 0280-92-1221 FAX 0280-92-7147

塗料密着剤(水性)素材上塗り適用表

素材 (被塗物)		上塗り塗装						
		フタル酸 ペイント	合成調合 ペイント	NC ラッカー	ウレタン 弱溶剤	ウレタン 強溶剤	エポキシ	水性塗料
塗料 素材	メラミン・アクリル焼付け	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎
	速乾ウレタン・ウレタン	△	△	△	○	△	△	◎
	2液ウレタン	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎
	エポキシ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	水性塗料	△	△	△	△	△	△	○
金属 素材	溶融亜鉛メッキ	×	×	×	×	×	×	×
	ガルバニウム鋼板	○	○	○	○	○	○	○
	アルミ(アルマイト処理)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ステンレス	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	銅・真鍮	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎
	クロムメッキ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	塩ビ鋼板	△	△	△	△	△	△	△
無機 素材	釉薬瓦	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	木部	○	○	○	○	○	△	○
	ガラス	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	磁器タイル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
樹脂 素材	FRP	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	メラミン樹脂板(デコラ板)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ポリカーボネート	◎	△	△	◎	×	△	◎
	ABS樹脂	△	△	△	◎	△	△	◎
	合成ゴム・天然ゴム	△	×	×	△	×	×	△
	ポリエチレン	×	×	×	×	×	×	×

注意事項 (◎良好 ○ほぼ良好 △試験必要 ×付着不良の恐れ有り)

① 表面の脱脂

- 金属鋼板の場合、表面に油・シリコン膜がある可能性があるため、表面をラッカーシンナー等で脱脂して下さい。また、保護フィルムなどが付いているものは、脱脂だけでは取れないものもあるため、サンドペーパーやシリコンカット(研磨剤)等で足付けをして下さい。
- モルタル・木部・スレート等は、染み込みがあるため、表面に皮膜が出来たのを確認してから上塗りをして下さい。
- 錆び・緑青等がある場合は、ワイヤーブラシ等で取り除いてから塗布して下さい。

② 密着剤塗布

- 水性密着剤自体はレベリングが良いので、ローラー1回の塗布で約5μ 乗ります、乾燥の確認として、タックフリーになるか、透明になったことを確認して下さい。
- 温度20℃・湿度60%であれば、30分～60分で乾燥しますが、染み込みの多い部材は、時間でなくタックフリーになったか確認して下さい。
- 未乾燥の上に塗料を塗布した場合は、縮みや剥離・気泡が起こる可能性があります。
- 未乾燥状態の時に再度密着剤を塗布すると膜が剥がれたり、塗膜がムラになりますので、乾燥被膜を確認してから塗布して下さい。
- 水性ですので、スプレーは出来ません、流れてしまいます。
- 寒冷地や湿度が高い時は、乾燥に十分注意して下さい。

③ 目安塗布量

- 30g～45g/m<sup>2</sup> 最大の計算上40m<sup>2</sup>～60m<sup>2</sup>/1.8kgです。しかし、染み込みの多い部材や膜厚にも関係しますので、平均的には50m<sup>2</sup>/1.8kgとして考えて下さい。

※上記適用下地(塗膜含む)・適用上塗りにおいて対応出来ないものもありますので試験のうえご使用下さい。

※第2石油類に属する溶剤を使用しているものは、溶剤の気散が遅くなる為、付着不良を起こす恐れがある為、試験してから施工して下さい。